

第12回最小侵襲脊椎治療学会（MIST学会）並びに第13回中部MIST研究会の合同開催報告

- 日時：令和4年6月23日（木）～25日（土）
- 会場：富山国際会議場・Webとのハイブリッド開催
- 参加者：約360名（内オンライン参加60名）

第12回最小侵襲脊椎治療学会（MIST学会）並びに第13回中部MIST研究会の合同開催（大会長：高岡市民病院医療担当局長兼富山大学医学部臨床教授 中野正人、副会長：富山大学整形外科診療准教授 関庄二）は、令和4年6月23日（木）から25日（土）の3日間、富山国際会議場とWebでのハイブリッド開催を行いました。富山の現地会場には、300名を超える脊椎疾患の診断治療に携わる研究者にお集まりいただきFace to Faceで、さらにはWebでUSA、タイ、韓国、台湾、オーストラリア、スイスなど国内外から参加された約60名の研究者と熱い議論がなされました。

本学会は、学閥を超え、ALL JAPANを合言葉に低侵襲脊椎手術を脊椎治療のスタンダードにするべく立ち上げられました。今や、低侵襲を目的とした治療は、あらゆる医療分野に応用され、高齢化社会となりその恩恵は従来の治療法と同等あるいは凌駕するに至っています。脊椎疾患に対する治療においても腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡手術から始まり、現在では薬剤の椎間板内注入療法が有効な治療法として確立しています。経皮的椎弓根スクリューの登場や、低侵襲側方手術の登場により変性疾患のみならず、外傷、感染、腫瘍性疾患へと、あらゆる病態に低侵襲手術は応用されています。本学会は下部組織として全国に7つの支部（北海道、東北、関東、中部、関西、中四国、九州）と国際支部があり、低侵襲手術治療の臨床実践、教育、研修ならびに討論の場を多くの脊椎外科医だけでなくメディカルスタッフにも提供して参りました。学会発足当初のテーマであった手術手技のみならず、診断、理学療法や薬物療法などの保存治療、周術期管理、新技術・新治療などの安全な普及と開発、並びにあらゆる低侵襲脊椎脊髄治療の研鑽を広く推進しております。

6月23日に行われました中部MIST研究会では、全国から症例報告をいただき、熱いdiscussionができました。最優秀演題賞は笹川武史先生（富山県立中央病院整形外科）、優秀演題賞は吉岡克人先生（国立病院機構金沢医療センター）、増田和浩先生（東京都立多摩総合医療センター）、福原大祐先生（洛和会丸太病院整形外科）、Best Comment賞は大塚聖視先生（豊川市民病院整形外科）、Best Answer賞は富田浩之先生（名古屋大学整形外科）が受賞されました。ハンズオンも36名の参加者があり盛会でした。第12回MIST学会のテーマは“一期一会MIST-Once-in-a-lifetime chance”と致しました。臨床現場や学会などでの新たな人や新技術との出会いを大切に、一期一会の心構えで診断治療だけでなく研究にも常に全力で取り組めればとの思いで開催させていただきました。プログラムは、国内外シンポジウムと症例検討ディベートセッション、特別基調講演、教育研修講演、共催セミナー、アワードセッション、一般演題、ハンズオンなど盛りだくさんの構成と致しました。本大会では、MIST学会恒例の全国7つの支部プロデュースによるシンポジウム・教育研修講演、Sister Societyである米国SMISSのAP sectionの合同シンポジウム企画を盛り込みましたが、大変盛況でした。

本大会抄録査読委員の先生方にご評価いただき、若手研究者奨励賞には檜山明彦先生（東海大学整形外科）、長濱賢先生（札幌脊椎内視鏡・整形外科クリニック）、小林和克先生（日赤愛知医療センター 名古屋第二病院）、メディカルスタッフ奨励賞には加集紀子様（特定非営利活動法人メリジャパン）、小杉隆浩様（高岡市民病院臨床工学技士科）が選ばれ、最終日に表彰させていただきました。Awardセッション部門では、2021年MIST学会論文アワードに選出された石原昌幸先生（関西医科大学整形外科）

と山田勝久先生（北海道大学整形外科）にご講演いただき表彰させていただきました。誠にありがとうございます。本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、現地富山県＋ライブ配信のハイブリッド開催となりましたが、現地には約 300 名の参加があり、最新の研究成果や知見の発表をもとに活発な意見交換が行われました。本学会のテーマである一期一会が富山で実現できたものと主催者一同喜んでおります。これもひとえに会員ならびに関係者の皆なさまのご支援とご協力の賜物と深く感謝致します。

本学術集会の事前準備ならびに当日運営においては、不行き届きの点もあったかとは存じますが、何卒ご容赦頂ければと存じます。

末筆ではございますが、今後とも変わらぬご指導を賜りますよう、伏してお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

令和 4 年 7 月 吉日

第 12 回最小侵襲脊椎治療学会（MIST 学会）

第 13 回中部 MISt 研究会合同開催

会 長 中野 正人

副会長 関 庄二







